

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動・音楽特化型児童デイぼぶらの樹 生野		
○保護者評価実施期間	R7年 3月 1日		～ R7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日		～ R7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・身体能力の強化	・できないことが知らないうちにできるようになっていたと思えるように、楽しく取り組める活動を考えている。	・引き続き行っていく。
2	・メリハリをつける	・約束昭和の中にある“やる時はやる、遊ぶときは遊ぶ”を児童だけでなくスタッフも意識し、遊ぶときは一緒に全力で遊び、活動時やイベントごとの際にはふざけず集中して取り組めるように促している。	・切り替えが難しい児童に関しては、できることから少しずつ成長できるように習慣化を目指していく。
3	・学校と家庭の間隔的な存在であること	・家庭だけでは難しい社会性の支援や集団生活の練習ができるような療育を提供している。	・引き続き各家庭のニーズを引き出し、それぞれの児童の特性に合わせた療育を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎可能な範囲が限られており、希望に十分に答えられない場合がある。	送迎ルートの見直しや、同乗者による安全確認を徹底している。	スタッフの増員や車両の追加など、送迎体制の拡充を検討中。
2	紙ベースの記録管理が中心で、情報共有や効率面に課題がある。	フォーマットを統一し、誰が見ても分かりやすい記録を心がけている。	タブレットの導入やクラウド管理など、ICT活用による業務効率化を進める予定。
3	日々の連絡帳以外で、保護者様と直接話す機会が少ない。	送迎時に短い対話を心がけ、連絡帳でも丁寧なフィードバックを行っている。	保護者様会・個別面談・イベントへの招待などを増やし、より双方向の関係を築いていく。